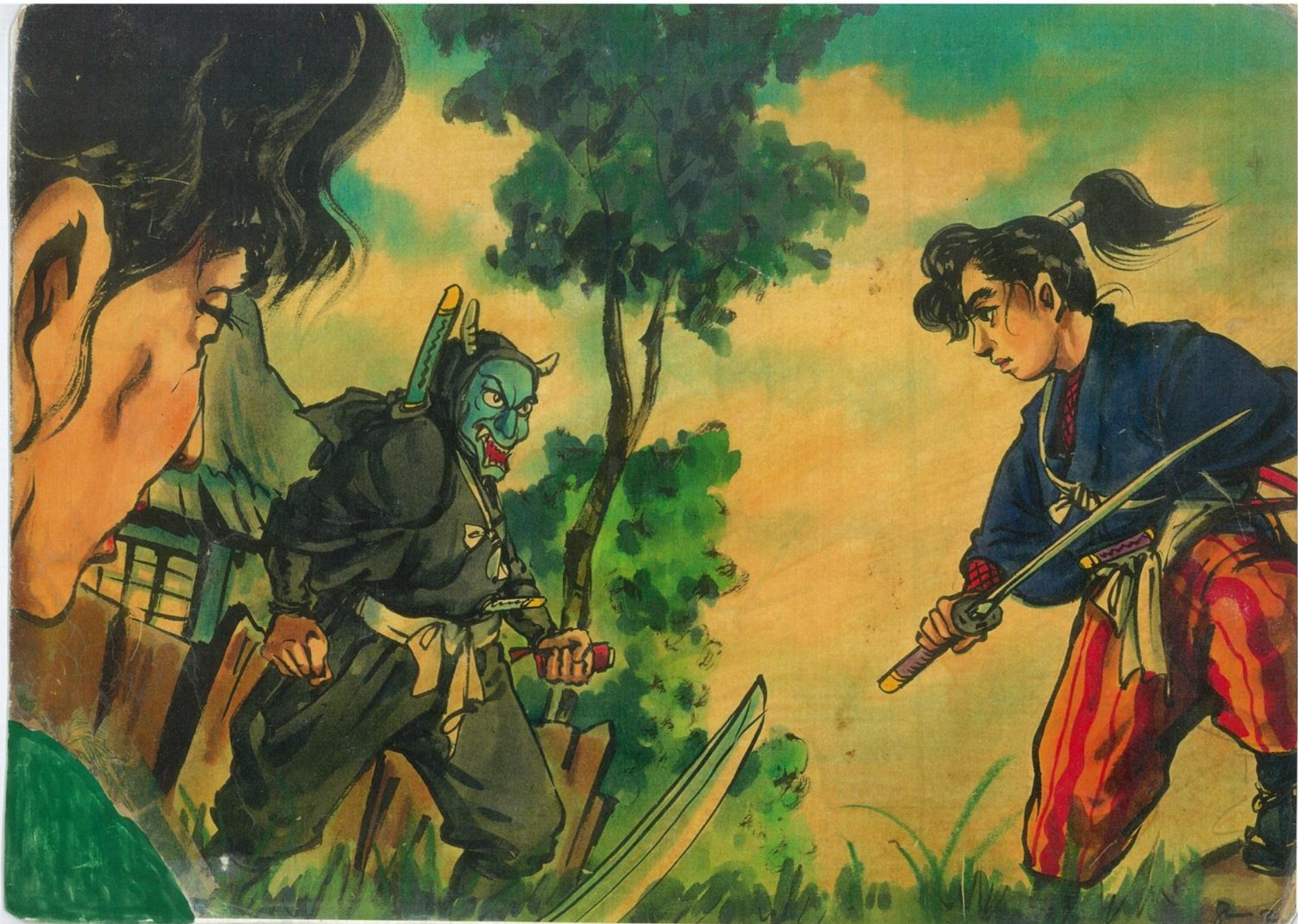


夜半蛇妖



自由社



夢幻

けんにや面の人

大むら巻物をもとらふてしまふ



手紙の宛先

半^ハ令^レの巻^マ物^キを^モ手^テに^ニす^ス

と^ト立^タ上^チる^カ長^ガの^ハ見^ミま^マも

異^イ村^{ヨウ}な^ハは^シに^ニや^ヤ面^{メン}の

怪^{カイ}人^{ジン}だ^ッた^タ

ク^クク^ク…[…] 夢^{ヨウ}か^カら^ラ入^イる^ル

悪^{アク}ソ^ソが^ガこ^コは^ハ俺^{オレ}か^カも^モら

え^えそ^そ行^イく^クぞ^ぞ 悪^{アク}く^ク思^{オモ}う^う

な^なよ^よし^し

何^{ナニ}お^おッ^ッし^しと^と

東京版劇
金星版

自由社

東京荒川区新屋二丁目四九〇
電話九二二九九番

東京都江戸川区鹿骨五丁目一七
永田為春
電話(三六九)五九一一番





はんによ

面メンの田オトコかは 木モリの奥オクえ 邊エ

いづめらたししまつた。

じりくくとつめよる

蛇ゲマドウ童丸マルの 切キ先サキまを

死ヒシヒになつてうけとある

はんによ面メン

すると何を思ったのか

キエー人

78-4



8-10

8-10

キエト

不^フ意^イに^ニ木^モの^リ奥^{オク}に
向^カき^キが^ミ妙^{ミョウ}な^ウサ^サケ^ケビ^ビ
声^{コエ}を^ヲあ^アげ^ゲた^タす^スると



金東画
星京版
版版劇

自由社
金久保 識
東京都荒川區新屋三丁目四九〇
電話 九九二二九番

東京都江戸川区鹿骨五丁目一七十五
永田 為春
電話(三糸丸)五九一一番



その書^{コエ}を合^{アイ}図^ジにか
 四^{ヒホウ}方^{ハシホウ}八方^{アキラウ}より現^{アキラウ}れた
 同^{オナジ}に村^{ヨウ}なはんにや面^{メン}達^{ダチ}が
 ぐるりと蛇^{ヂヤ}童^{ドウ}丸^マのまあり
 を^{ホリ}取^リりかこいじまつた



東京江戶川区鹿骨五丁目一七十五
 永田為春
 電話(三谷美)五九一一番





「エイ」



キ
「ア」
「リ」
「フ」
「ケ」
「シ」
「マ」
「セ」
「ト」
「リ」
「シ」
「タ」
「人」
「を」

「あ」
「う」
「フ」
「シ」

と、
「の」
「場」
「に」
「キ」
「リ」
「倒」
「れ」
「タ」

9—3
「た」

東京
金星
版劇

自由社

東京
荒川
電話
九二二九

東京
江川
電話
五九一一

永田為春

電話
五九一一

永田為春



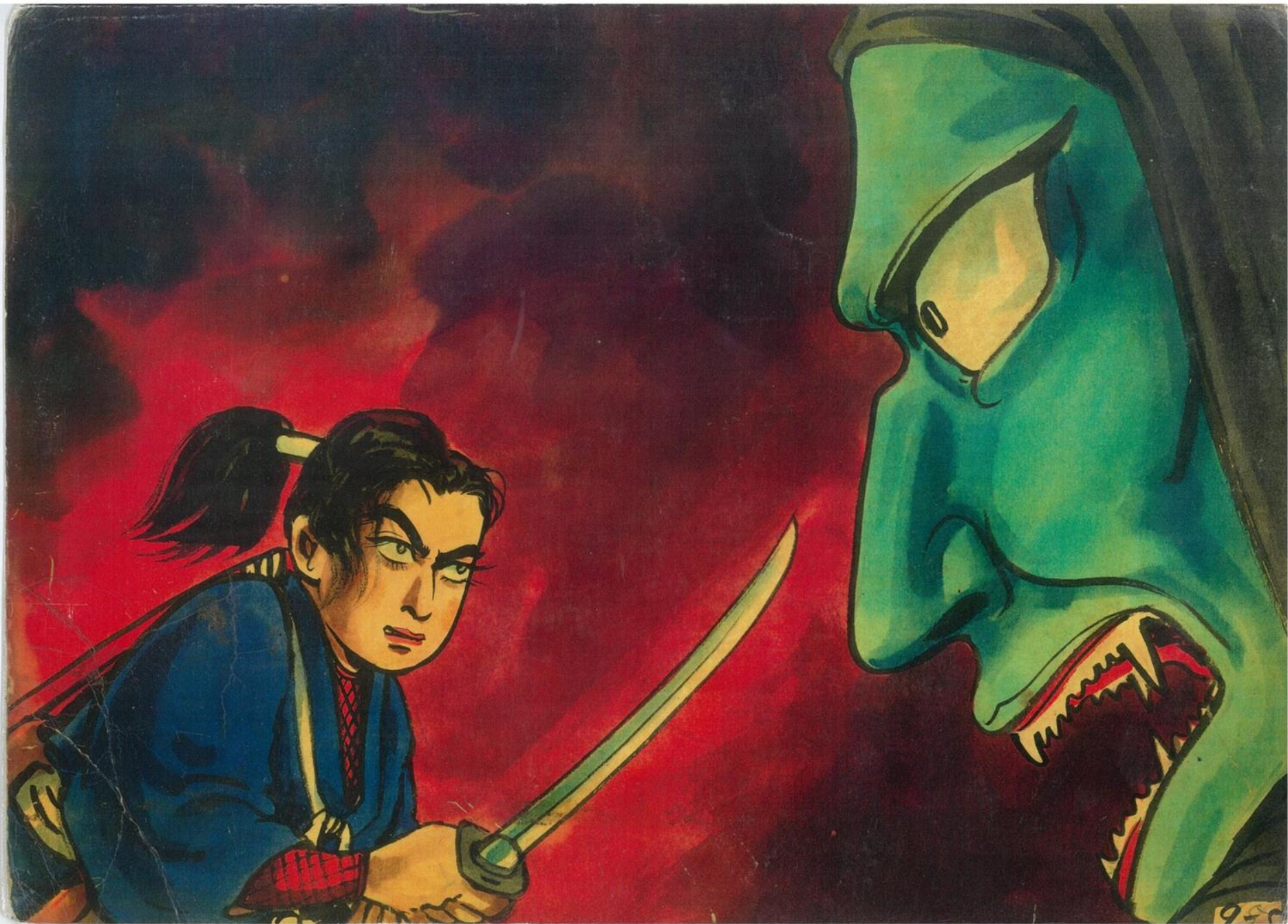
4-1
 は 躍 ぶ
 材ト
 越 童 丸 の
 心 殺 の 剣
 ヒンサツ
 ミキ 友 に た に ち り ま くる
 ヒギ
 7 と お ー ー ー
 7 や ー ー ー
 7



東京
 金星
 版
 刺

自由社
 金久保 誠
 東京 荒川區 所屋三丁目四九〇
 電話 四九二二九番

東京都江戸川区鹿骨五丁目一七十五
 永田 為 春
 電話 (三三九) 五九二二番



コ
十^{ゾウ}倍^カら^カ中^カ々^カこま^カるなよ

よし
俺^{オレ}のくせり鎌^{ガマ}が

又^{ウケ}け^ケられ^ケたらうけ^ケ

みろ
し

と^{ヒトリ}一人^{ヒトリ}のはんにや^{ヒトリ}面^{ヒトリ}が

あ^{ヒトリ}に^{ヒトリ}ぞ^{ヒトリ}また^{ヒトリ}



金東画
屋京版
版刷

自由社

金久保
東京都荒川区
電話 99 九二二九

永田為春

東京都江戸川区鹿骨五丁目一七十五
電話(三宅)五九二一



「けえッ

キ ミヨウ ミヨウ ミヨウ

太の妙なキ気合トモいと共トモラに

くまきくみくようとといひまた

命ミ洞ドがウ蛇ガ童ド丸ルのヤ刃ズに

からみつそーまうた

「お、うッ

画
東京版
自由社

金久保城
東京荒川区河原二丁目四九〇
電話 九二二九九番

東京都江戸川区鹿骨五丁目一七一五
永田為春
電話(三六九)五九一一番





固くからみソ長命銅は
ふりはずさうとしこも容易
ヨロイ

にはちんない

しまつて

四方ハホウハ
虫童丸

めがけし丹は
追え

きた

東京版
星版

自由社

金久保誠
東京荒川區新屋丁目四九〇
電話 03 九二二九九番

東京都江戸川区鹿骨五丁目一七一九

永田為春

電話(三才)五九一

ヤスガ
お童丸
どうする
お童丸



ヨウスの
村まを

木かげから 押あしんを

あつるはひらこりした

キ
まあー大夢
何とかが

8. ししあの方を 助け

なげればならなわ

東 西
京 京
版 版
金 星
星 版
自 由
由 社

東京新光川區新屋三丁目四九〇
電話 03-92229番

東京都江戸川区鹿骨五丁目一七―五
永田為春
電話(三宅)五九二二番

1576



誰かまて下

大妻

大妻で

あつるの

姿を

祖頭

女の



東京版
金星版

永田為春
自由社

東京
電話
九二一九番

東京都荒川橋屋三丁目四九〇



「娘さんどうしてのぞすか」



「ハイ、私の危い所を助け」

「下士の方か、要る者に」

「かこまれし今危いのぞす」

「何とかが助けしあげせいと」

「思ひうのぞすけど」

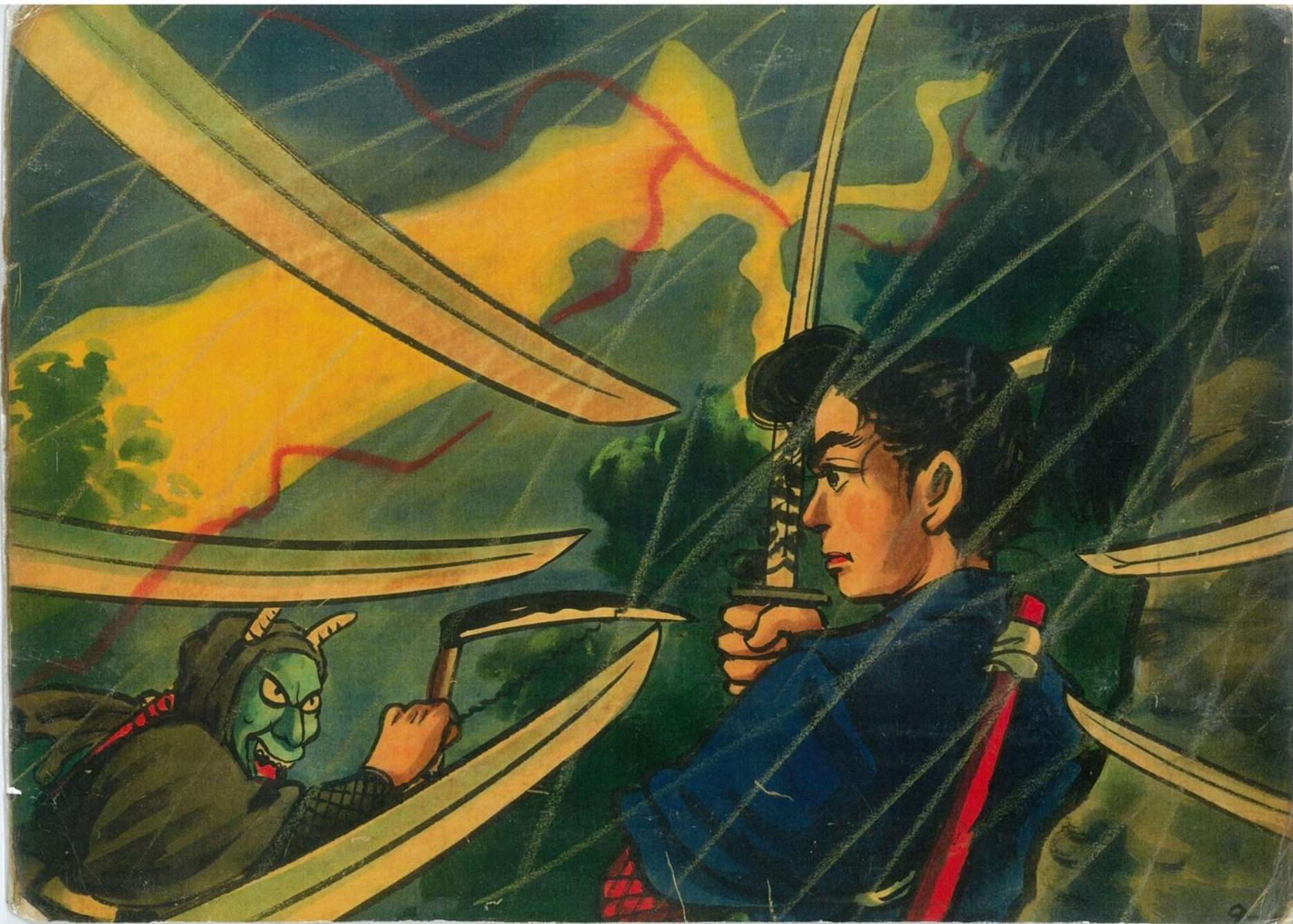
「どうぞすか、ちやア、程が」

「何とかがします、心配しなげ」

「も大丈夫ですよ」

蛇丸
おつ

東京 都江戸川区鹿骨五丁目一七―五
金田 為春
電話 九二二九



大木を^セ背^セに^チち^ッと^チ起^チ

すくむ^ガ蛇童丸^ガ



「^ゴ僧^{ゾウ}見^{カク}悟^ゴは^いい^か」

追^セる^マ刃^ヤの^ガ林^シ 馬^ウに^キ危^シ候^キ

一^シ花^ハの^ハの^ハ町^チ突^ツ地^チ

一^シ起^キる^ル雷^{ライ}鳴^ネと^ト相^{ソウ}老^{ロウ}リ

さて蛇童丸はこの危機から

のがれ出るこことが出来るの

でしようか？

結きは次回の楽

9-1元

變幻蛇童丸

終卷9

函
東京
板
金屋

由社
大塚
一
三
九
〇

東京市江戶区區尾骨五丁目二七十五
永田為春
電話(三七九)五九一一番